

## 第 7 2 回「電波の日」総務大臣表彰

## 1 個人：3 件

(敬称略)

氏 名	功績の概要
うめ ひ ら まさひろ <b>梅比良 正弘</b>  南山大学 理工学部 電子情報工学科 教授 茨城大学 名誉教授	長年にわたり情報通信審議会において多くの無線システムの技術的条件のとりまとめを主導するとともに、総務省国立研究開発法人審議会会長代理として国立研究開発法人の業務実績の評価に寄与されるなど、電波利用の高度化と国の研究開発の発展に多大な貢献をした。
おおみち みちひろ <b>大道 道大</b>  一般社団法人日本病院会 副会長（情報発信担当）	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、医用テレメータを始めとする電波利用の重要性を認識し、医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引きの改定に医療現場の視点を反映させるとともに、広く周知啓発を図るなど適正な電波利用及び人材育成に多大な貢献をした。
よしだ すすむ <b>吉田 進</b>  前 電波監理審議会会長 京都大学 名誉教授	電波監理審議会会長として長年にわたり電波・放送行政の発展に多大な貢献をし、また第5世代モバイル推進フォーラム会長として、産学官連携による5Gの展開に多大な貢献をした。

## 2 団体：1 件

(敬称略)

団体名	功績の概要
公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 テクノロジーサービス局  (局長 <small>たち たけし</small> 館 剛司)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、電波利用密集地域で新たに多数の無線局が使用されるという厳しい電波環境の中で、総務省の実施する無線局検査及び電波監視に対して必要な支援を行い、大会における適切な電波監理の実現に多大な貢献をした。